

2つの図を重ね合わせる 操作

2019年5月11日

2つの図を先ず計算します。 本書では Cr-Fe 2元系状態図を例にします。 Pandat verion_2019 を使用します。

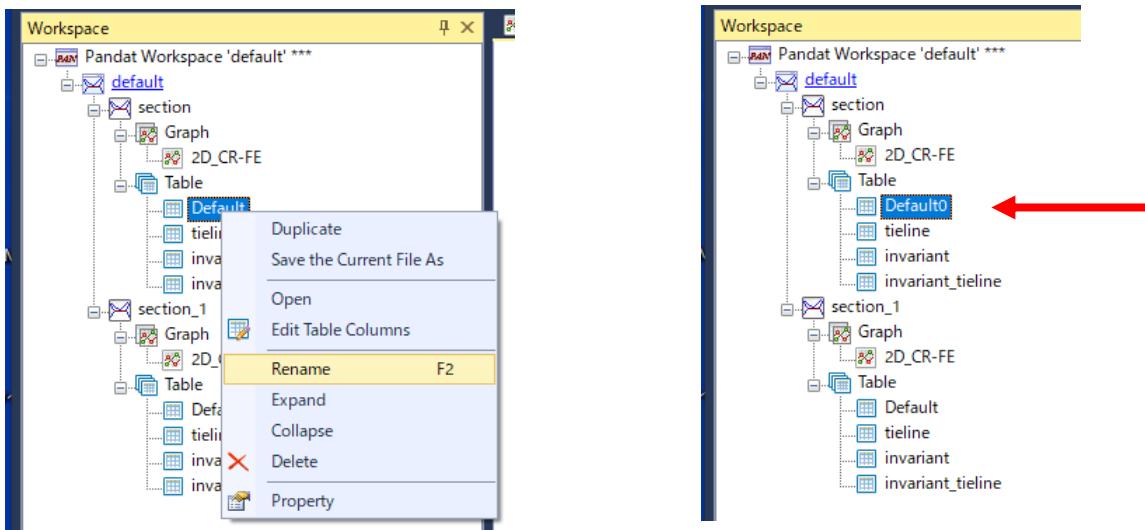
操作の概略

1つ目の計算結果の数値テーブルから X 軸 (Cr 濃度) 列と Y 軸 (温度) 列を抽出し、2つ目の図に足す。

左側窓の Workspace に注目します。それぞれの図に Section 名が付けられています。ここでは理解しやすいように1つ目の図の数値テーブルの Default の名前を Rename し、「Default0」に変更します。操作は右クリックし、Rename を選択します。

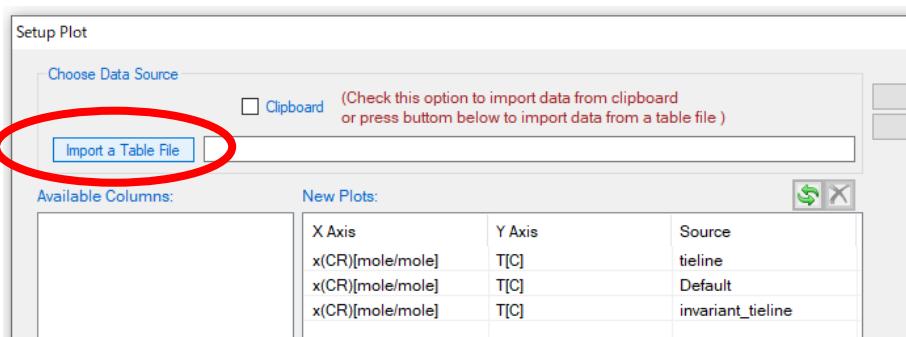
1つ目の Section の図は文献 1987And の図、

2つ目の Section_1 の図は文献 2018Jac の図



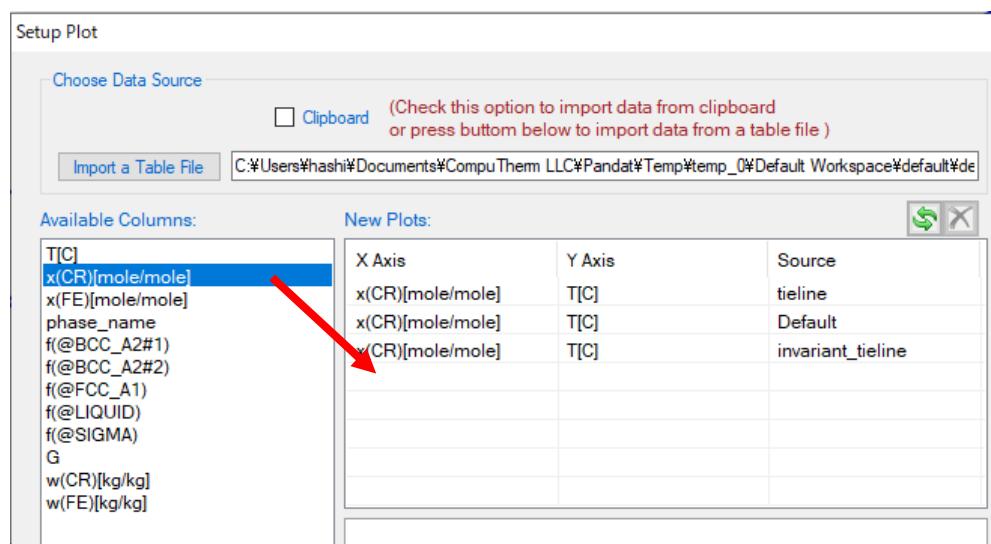
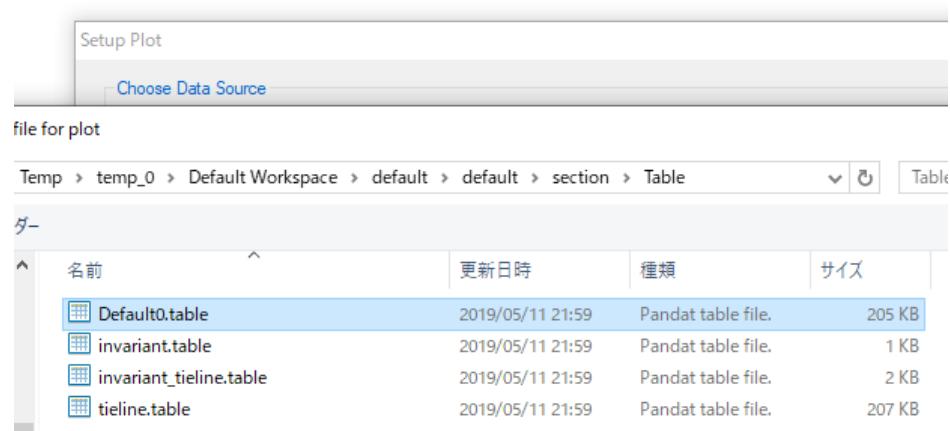
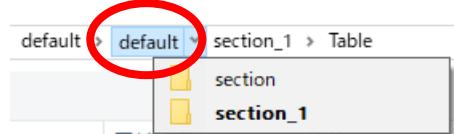
2つ目の図を表示した状態にします。

メニュー Graph の EditPlots を選択し、Import a Table File ボタンをクリックします。



下図の赤丸印部分をクリックすることで Section を選べます。1つ目のセクションを選択し、次に Table を選択すると、下の画面になります。

Default0.table を選び、「開く」を実行します。



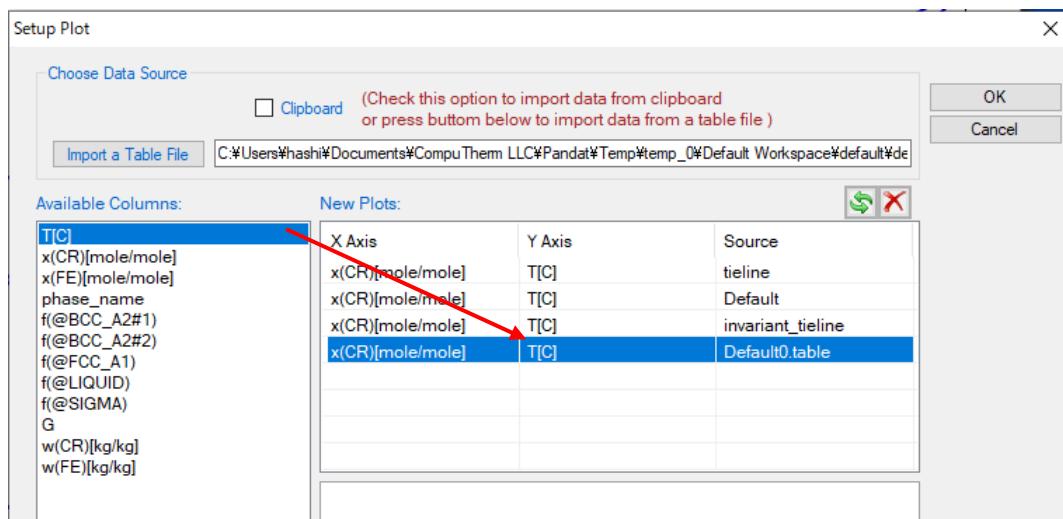
左側の Available Columns 枠中に数値テーブルの列名が表示されます。

X(CR) の行を選択し、右側の X Axis 列の空白行に、そのままドラッグします。

Source 列が Default0.table になることを確認します。

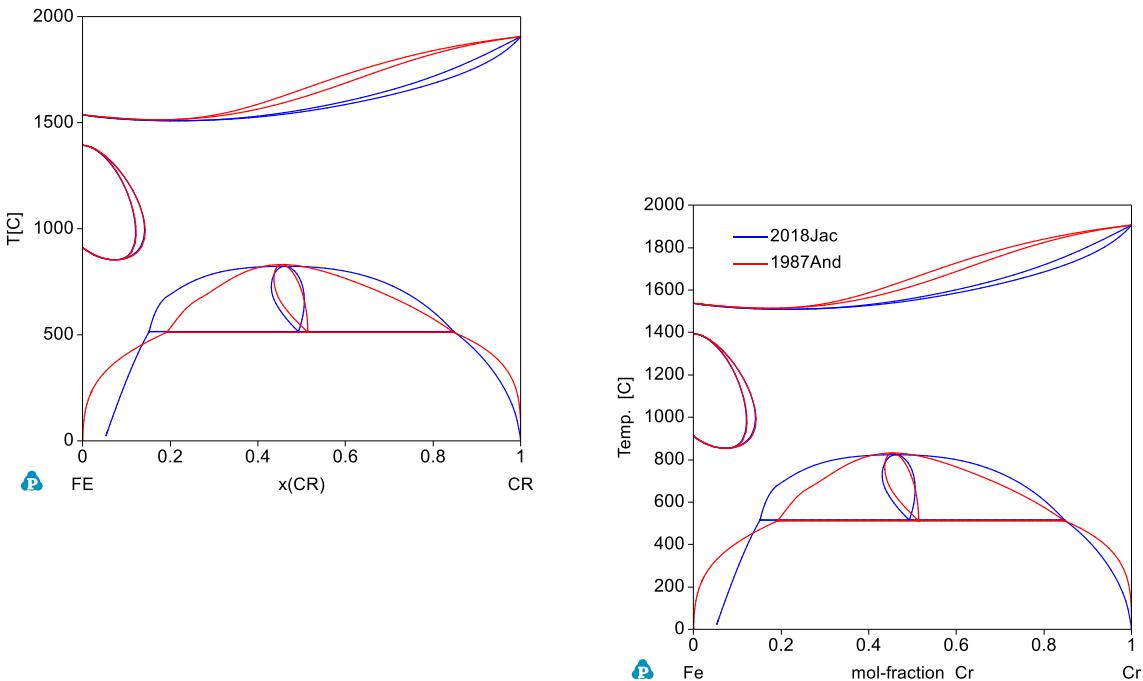
次に

T[C] の行を選択し、右側の Y Axis 列に、そのままドラッグします。



右側の NewPlots 枠に 4 行目が足されたことになります。
右上の「OK」ボタンをクリックします。
これで 2 つの図が重ね合わさりました。

メニュー Graph から Legend を選択し、図上をどこかクリックすれば凡例が表示されます。
この凡例をダブルクリックすることで、表示テキストを変更できます。



操作は以上です。

計算結果の図は、Pandat のメニュー Edit の Copy により、
Word や PowerPoint に貼り付けできます。

計算結果の図は、外部ファイルとして保存できます。

Pandat のメニュー Graph の Export により、下記の 6 種類を選択できます。

EMF (*.emf)	PNG (*.png)
Bitmap (*.bmp)	GIF (*.gif)
JPEG (*.jpg)	TIEF (*.tif)

以上
株式会社 材料設計技術研究所